

## 令和7年5月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年5月分について、輸出は「半導体等電子部品」、「電気計測機器」などが減少したものの、「家庭用電気機器」、「原動機」、「半導体等製造装置」などが増加したことから対前年同月比5.3%の増加となった。また、輸入は「医薬品」、「航空機類」などが減少したものの、「半導体等電子部品」、「通信機」、「自動車の部分品」などが増加したことから、同1.6%の増加となった。

その結果、差引額は231億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,021億円	+5.3%	1,251億円	+1.6%	▲231億円	▲12.3%
	8カ月連続の増加		24カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1)家庭用電気機器	36億円	+100.9%	輸入	増加品目	(1)半導体等電子部品	212億円	+30.0%		
		(2)原動機	63億円	+28.4%			(2)通信機	44億円	+93.8%		
		(3)半導体等製造装置	31億円	+68.5%			(3)自動車の部分品	28億円	+127.6%		
	減少品目	(1)半導体等電子部品	108億円	▲15.8%		減少品目	(1)医薬品	85億円	▲24.5%		
		(2)電気計測機器	46億円	▲24.6%			(2)航空機類	53億円	▲29.8%		
		(3)医薬品	2億円	▲68.3%			(3)コック・弁類	19億円	▲39.3%		
	主要地域 増減	アジア、アメリカが増加、EUは減少				主要地域 増減	アジア、EUが増加、アメリカは減少				

（参考）ドルレートは、143.97円（前年同月比7.4%、11.51円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税關長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。